

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ※平成21年10月13日付で上記住所に移転しております。 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

当社ホームページのご紹介

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>

当社に関する様々な情報を公開しております。



第35期 中間報告書

平成21年3月1日から平成21年8月31日まで





お客様により必要とされる地域密着型の ナショナルチェーンを目指し、 再び成長軌道を力強く歩み始めました。

代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当中間期の業績について
教えてください。

A1 消費者の節約志向による買い控えや低価格化が継続するなど厳しい状況の中、低価格化対応商品の開発や売り場の活性化を積極的に図りました。その結果、新開発商品は好調に推移したものの夏場の天候不順に伴い飲料・冷菓などの夏物商品の販売が予想を大きく下回ったことや、低価格化の影響によりチェーン全店売上高は当初計画を下回り49,534百万円（前年同期比8.4%減）となりました。これに伴い営業利益は441百万円（前年同期比26.4%減）となり、経

常利益は466百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

また、四半期純利益は閉店店舗の減少などにより285百万円（前年同期実績：中間純損失2,513百万円）となりました。

Q2 通期の見通しや現在の取り組み施策について教えてください。

A2 通期については、営業総収入56,804百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益438百万円（前年同期比41.8%減）、経常利益473百

万円（前年同期比42.5%減）、当期純利益202百万円（前年同期実績：当期純損失2,869百万円）を見込んでおります。

今期はこれまでサンドウィッチ・ハンバーガー・おにぎりの全面リニューアル等、売り場の活性化や290円、390円ラインの「低価格弁当」や105円惣菜の「お手軽惣菜」の開発・販売により低価格商品需要へ対応してまいりました。また「接客向上プログラム」を継続的に実施することで更なるQSC（「品質（クオリティ）」・「サービス」・「清潔さ（クレンリネス）」の頭文字をとったもの）向上に取り組むとともに、積極的な新規出店を実施してまいりました。

今後は低価格化への対応とともに、高付加価値商品の開発投入も促進するなど、細分化するお客様のニーズに対応し売上の確保に努めてまいります。また、クロネコメール便の取扱い、インターネットショップの立ち上げなど新サービスの提供にも積極的に取り組んでまいります。

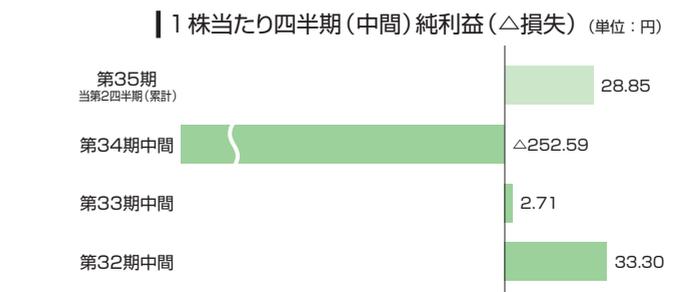
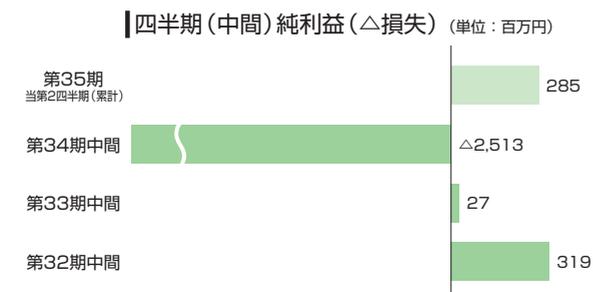
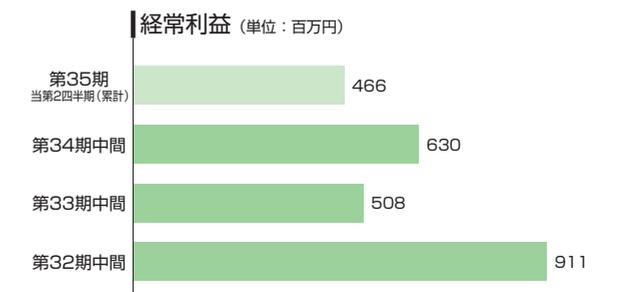
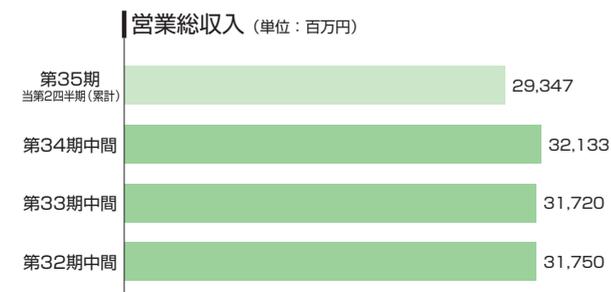
Q3 ポプラの経営ビジョンや強み、ビジネスモデルについても教えてください。

A3 当社は業界独自の製販一貫体制により、製造卸利益を原資に売上ロイヤリティ制度を採用し、加盟オーナー様に対して低いロイヤリティを実現しております。この制度は加盟オーナー様にとって大きなメリットであり、消費者の生活防衛意識の高まりから低価格化が進行する中、当社のビジネスモデルは業界の受け皿的役割を担えると考えております。

前期は不採算店舗の整理や減損損失の計上など、企業基盤と社内体制の整備に重点を置いて、再成長への足場作りを実施してまいりました。そして今期は「800店舗」「チェーン売上1,200億円」を中期目標に掲げ、再び成長軌道とすべく積極的な出店を計画・実行中であります。

業界を取り巻く環境は非常に厳しい状態ではありますが、下期以降も、常に新しい利便性を追求しお客様に必要とされるチェーンになることが目標達成に最も重要であると判断し、安全で質の高い商品の開発やサービスを追求して、お客様の満足度向上に努めるとともに、新規出店を加速し事業規模の拡大に取り組んでまいります。

財務ハイライト



主力商品のお弁当・惣菜類を充実させるとともに、サービスの拡充を進めて商品力を強化し、お客様の満足度向上、新規出店の加速による事業規模の拡大に挑戦します。

製販一貫体制の強みを最大限に生かし、お弁当・惣菜の充実やFFの強化に取り組みます。

お客様がお弁当をお買い上げの際にその店で炊いたご飯を詰めるスタイルのHOT弁当は、ホカホカのご飯を召し上がっていただけると同時に、お客様のご要望により、21円増で大盛りになります。

コンビニ弁当をよりおいしく、お客様に応じたスタイルで提供したいという思いは、HOT弁当にとどまらず、自社で開発・製造するすべての弁当・惣菜類に共通しています。

まずはお客様にご来店いただき、ご来店いただいた際に満足していただける弁当類の提供、更にはついで買いをしていただけるような商品、例えばすぐに食べられるFF（ファーストフード）やお手ごろ価格の惣菜など、お客様に選んでいただける商品を増やすため、商品開発に力を入れます。また、インターネットギフトサイトなどの新サービスを導入し、サービスの拡充を進めていきます。



当中間期に発売した商品の数々

290円ご飯シリーズ



Pバーガー



390円弁当シリーズ



お手軽惣菜



病院、役所、企業内などの限定商圈や高速道路PA内など、特殊立地への出店に力を入れて、店舗網の拡大に努めます。

商圈を見極めた積極的な出店



ヒルトン東京ベイ店



沼田PA下り店



富山市役所店



周りを見回せば、どこにでもコンビニがあるようなコンビニ飽和状態の中、コンビニに求められるニーズは立地条件により異なり、どこでも同じ商品、同じ形態のお店ではお客様に満足していただくことが難しくなっています。

そんな中、病院、役所、企業内の売店として、ホテル内ショップとして、高速道路PA内の飲食所兼ショップとしてなど、特殊立地での出店ニーズが高まってきています。

ポブラではストアブランドの使い分けと出店形態や内装、取扱商品とサービスの变化により、そのような特殊立地への出店に力を入れて、店舗網の拡大に努めます。

商品力の強化

ブランドイメージの向上

立地に応じたストアブランドの使い分けと商品の品揃えにより、ブランドの再構築を図ります。

「ポブラ」については、住宅街やロードサイド、郊外立地の特性を生かせるように、HOT弁当・惣菜の充実や豆腐・卵・牛乳などの日配品の品揃えを強化します。また、都市型店舗の「生活彩家」については、上品でシンプルなイメージを生かして、オフィスビル、ホテル、病院、企業、役所など、個々の立地条件に合わせて商品の品揃えや内装を変化させて、女性やファミリー層に対応した商品の開発に取り組んでいきます。高速道路PA内に展開する「ハイウェイ彩家」については、気軽に立ち寄っていただける、くつろぎスペースの提供と軽食の開発を行い、お土産品、ご当地スイーツなど、高速道路ならではの商品販売に力を入れます。



ポブラ



生活彩家



ハイウェイ彩家



くらしハウス



スリーエイト

四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末 平成21年8月31日現在	前事業年度末 平成21年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	3,633	6,370
受取手形及び売掛金	170	200
商品及び製品	1,665	1,638
原材料及び貯蔵品	50	35
その他	1,331	2,220
貸倒引当金	△ 4	△ 6
流動資産合計	6,846	10,459
固定資産		
有形固定資産		
自有有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,347	2,213
土地	3,393	3,176
その他（純額）	347	304
自有有形固定資産合計	6,088	5,694
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,687	1,728
土地	554	516
その他（純額）	258	283
貸与有形固定資産合計	2,499	2,528
有形固定資産合計	8,588	8,223
無形固定資産	106	127
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,829	3,963
その他	2,255	2,032
貸倒引当金	△ 792	△ 790
投資その他の資産合計	5,293	5,206
固定資産合計	13,988	13,556
資産合計	20,834	24,016

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成21年8月31日現在	前事業年度末 平成21年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,533	4,247
加盟店買掛金	1,855	3,926
短期借入金	112	112
預り金	1,754	1,766
未払法人税等	75	125
賞与引当金	124	121
その他	1,322	1,809
流動負債合計	8,777	12,109
固定負債		
長期借入金	48	132
退職給付引当金	422	408
長期預り金	2,427	2,518
その他	157	139
固定負債合計	3,055	3,199
負債合計	11,832	15,308
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	3,979	3,693
自己株式	△ 91	△ 91
株主資本合計	8,948	8,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53	45
評価・換算差額等合計	53	45
純資産合計	9,001	8,708
負債純資産合計	20,834	24,016

point ① 流動資産

前事業年度末日は銀行休業日にあたり、買掛金・未払金等の支払が翌月に繰越されているため、比較上では当第2四半期末の流動資産残高が減少し現金預金で2,737百万円の減少、流動資産合計では3,613百万円の減少となっております。

point ② 固定資産

有形固定資産の前事業年度末からの増減内容は、設備等の新規取得による増加が744百万円に対し、償却費313百万円、除売却・減損損失等66百万円の合計379百万円の減少で前事業年度比365百万円の増加となっております。

point ③ 流動負債

流動資産と同様の理由により流動負債についても減少しております。（買掛金・加盟店買掛金で3,365百万円の減少、未払金の減少316百万円）

point ④ 売上高

たばこ売上はTaspo効果により前年同期より110百万円の増加となりましたが、前期に実施した不採算店舗の閉鎖による店舗数の減少や夏物商材の販売不振や消費低迷の影響で全体売上としては前年同期比91.3%となりました。

point ⑤ 特別損失

前年同期は2,709百万円の減損損失を計上しておりますが、当第2四半期計上額は17百万円、更に期中の閉店店舗は前年同期40店舗に対し当第2四半期は16店舗となるなど、特別損失合計では3,066百万円の減少となりました。

本報告書における表記につきまして

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当第2四半期連結財務諸表と前中間連結財務諸表とは作成基準が異なるため、前年に関する情報は参考として記載しております。

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期（累計） 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで	前中間期（ご参考） 平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで
売上高	26,819	29,391
営業収入	2,527	2,742
売上原価	21,213	23,113
営業総利益	8,133	9,020
販売費及び一般管理費	7,692	8,419
営業利益	441	600
営業外収益	40	50
営業外費用	15	19
経常利益	466	630
特別利益	23	72
特別損失	55	3,121
税金等調整前四半期（中間）純利益（△損失）	434	△2,418
法人税、住民税及び事業税	51	52
還付法人税等	—	△ 39
法人税等調整額	96	81
四半期（中間）純利益（△損失）	285	△2,513

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期（累計） 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで	前中間期（ご参考） 平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,119	7,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 529	△4,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 87	△ 175
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△2,737	2,542
現金及び現金同等物の期首残高	6,366	2,466
現金及び現金同等物の四半期末（中間期末）残高	3,629	5,008

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

「お手軽惣菜」を発売

5月26日

平成21年5月26日に中国地方のポブラグループ店舗で価格を100円台前後に設定した惣菜「お手軽惣菜」を発売しました。お弁当や食卓のおかずにプラス一品できるような、お買得感のある惣菜です。

トムとジェリー キャンペーンを実施

7月17日

平成21年7月17日から約3週間、ポブラグループ全店でキャンペーン対象商品を買って、ポイントを集めていただいたお客様に対し、ポブラオリジナルの「トムとジェリー」マグカップをプレゼントするキャンペーンを実施しました。また、連動企画として、対象商品80品目をクーポンの使用により、お得な価格でお買い求めいただけるサマークーポンキャンペーンを実施しました。

新広島市民球場オープン 記念キャンペーンを実施

4月7日

新広島市民球場「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」のオープンに合わせて、「新球場へ行こう!! GO! GO! 応援キャンペーン」を平成21年4月7日から約1週間、広島県内のポブラ店舗で実施しました。税込み700円以上お買い上げのお客様にスピードくじを引いていただき、当たりが出ればその場でカープ応援グッズをプレゼントするもので、地元企業として、地域を盛り立てるキャンペーンとなりました。

低価格ハンバーガー 「Pバーガー」を発売

7月20日

これまで様々なアイテム・価格で販売してきたハンバーガーを統一し、価格を100円～130円に設定した低価格ハンバーガー「Pバーガー」を平成21年7月20日に西日本地区（関西地区含む490店舗）のポブラグループ店舗で発売しました。「ジューシー感がたまらない!」をコンセプトにソース量アップや調理レシピに工夫を重ねました。

電子マネー「WAON」 を実験導入

8月1日

平成21年8月1日から順次、広島市内のポブラ7店舗で電子マネー「WAON」の実験導入を開始しました。地域別に多様化する決済手段の導入に取り組み、会計時間の短縮を図るとともに、更なる利便性の向上を目的としたもので、ポブラ全店導入を視野に入れ、まずは電子マネー利用率の高い広島市内中心部の3店舗とイオングループ店舗展開の近隣店4店舗で導入しました。

会社概要

(平成21年8月31日現在)

社名	株式会社ポブラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年(1976年)4月20日
チェーン店舗数	705店舗
従業員数	605名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポブラ保険サービス有限公司	3,000	(注)100(73.3)	保険代理店事業
株式会社ポブラ企画	10,000	100	不動産管理事業

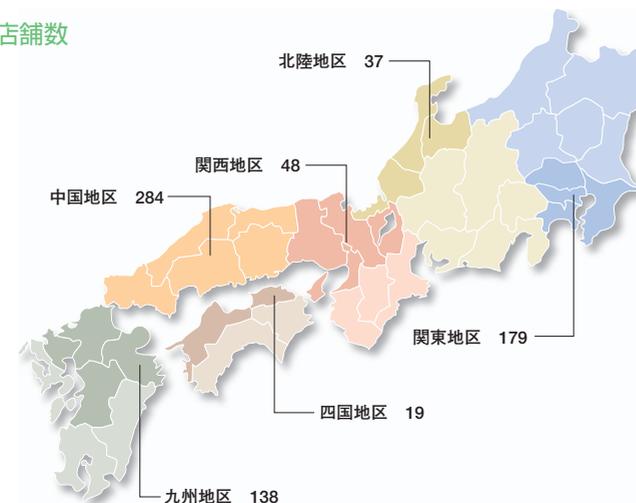
(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

役員

(平成21年8月31日現在)

取締役会長	目黒俊治
(代表取締役)	
取締役社長	目黒真司
(代表取締役)	
常務取締役	宮崎進
取締役	野村一雄
取締役	市村英世
常勤監査役	相良勝彦
社外監査役	臼田耕造
社外監査役	大野勝美

店舗数



当中間期の新規開設店舗

- | | |
|-----------------|------------------|
| 富山市役所店(富山県) | 水見加納店(富山県) |
| 射水沖塚原店(富山県) | トルナーレ浜町店(東京都) |
| 台東病院店(東京都) | 大師PA店(神奈川県) |
| 関東管区警察学校店(東京都) | 浦安市川医療センター店(千葉県) |
| 16号八千代北SS店(千葉県) | 平和島下りPA店(東京都) |
| 北八王子駅前店(東京都) | 横浜若葉町店(神奈川県) |
| ヒルトン東京ベイ店(千葉県) | 江津東店(島根県) |
| 益田乙吉店(島根県) | 沼田PA下り店(広島県) |
| 関門医療センター店(山口県) | 秋吉店(山口県) |
| 福岡青洲会病院店(福岡県) | 響灘工業団地店(福岡県) |

株式の状況

(平成21年8月31日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	10,040,018株
株主数	6,285名

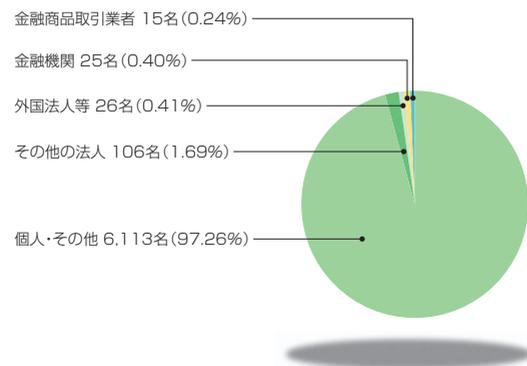
第34期期末に比べ、22名減少しました。

大株主

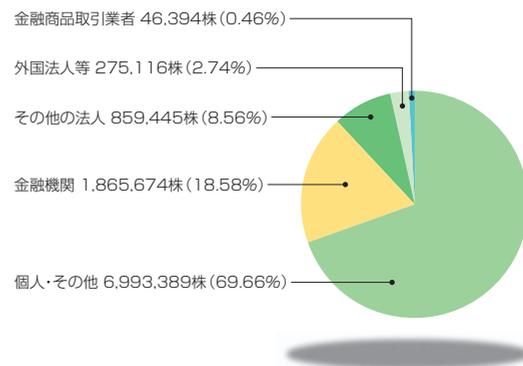
株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,874,944 株	29.01 %
ポプラ協栄会	1,165,809	11.76
ポプラ社員持株会	292,631	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	249,200	2.51
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	207,460	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	180,500	1.82
オーエム19エスエスピークライアントオムニバス808336	175,700	1.77
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61

(注) 持株比率は、自己株式 (133,175株) を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



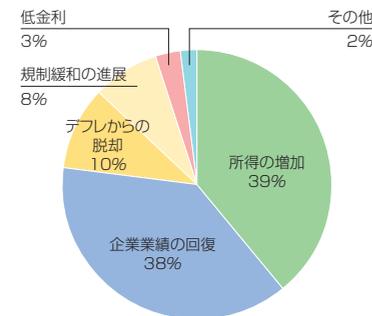
アンケート結果のご報告

●アンケートにご協力いただきありがとうございます。

第34期報告書と一緒に送付させていただいた株主様アンケートは、今回も多数のご回答をいただきました。その中のアンケート結果の一部ではありますが、今回も掲載させていただきます。

株主様とのコミュニケーションを深めるためや株主様の直の声を聞ける機会として今後も続けてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

今後の消費に大きくプラスになる要因は何だと思いますか



店舗出店について

- ・金沢への出店をしてください。(石川県・男性・30代)
- ・神奈川県での店舗拡大を期待しています。(神奈川県・男性・30代)

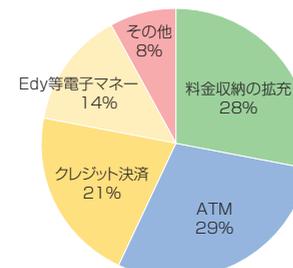
確実な出店を進めてまいります。
ホテル内店舗や病院内店舗などの出店も強化してまいります。

その他

- ・自宅のすぐ近くにあり、商品購入、宅急便発送など、とても便利で利用しています。スタッフの対応も良いです。(東京都・女性・40代)
- ・これからも、お弁当などでポプラの独自性を出し続けてください。(埼玉県・男性・40代)
- ・鳥取へ帰郷の際、時々利用しています。復配を期待しています。(鳥取県・女性・40代)

地域に密着した店づくりができるよう、サービスの拡充を図ります。
また、商品開発部署などの組織を強化して、お客様に喜んでいただける商品を開発いたします。

コンビニエンスストアでどのようなサービスを期待しますか



料金収納の拡充やATM設置店舗の拡大を進めてまいります。

たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。